

## 「いばらき幸福度指標（仮称）」の考え方（素案）

### 1 本県が考える幸福と導入の目的

県民一人ひとりが未来に希望を持つことができ、自身のなりたい自分像に向かって一歩でも二歩でも近づいていけるよう、挑戦を続けられることが幸せな状態であると考え、幸せの実現に向けた様々な取組を踏まえ、そのような環境の整備・充実状況を定量的に把握する。

### 2 指標の選定

有識者の意見や他の様々な調査の知見などを踏まえ、県民生活と関係が深く、個人の幸福と相関があるとされている指標項目のうち、県が進める4つのチャレンジ（20政策）から県民の幸福の実現状況を示す指標を選定する。

なお、正当性・安定性・客観性を担保するため、原則として公開されている政府統計データ等を算出根拠とする。

### 3 評価・運用

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に向けた進捗を確認するため、毎年度、指標を都道府県間で比較可能な数値に変換し全国順位を算出することにより相対的な評価を行う。

### 4 備考

- 個人が幸福を実感しているかどうかについては、個人の主観的な幸せが多様であるため、施策との相関が現われにくいという課題があることから、当面、いばらき幸福度指標（仮称）は客観的指標を中心に選定を行う。
- 県民の幸福の実現状況を示す指標の選定については、主観的指標も含め、引き続き研究を続けていく必要があることや、この予測困難な時代における社会経済情勢の動きなどを踏まえ、今後、指標は柔軟に見直しを行っていくものとする。